

3 教育・保育内容の充実と研修等

就学前教育・保育の質の向上

1. 教育・保育のさらなる充実への支援

県内のどこにいても質の高い教育・保育が受けられる環境の実現を目指して、園内研修(下記)をはじめ、県内の各国の「学び」を支援する

乳幼児園の子と先生は、夢中になって遊ぶ中で様々な体験を重ね、表現・能力が育まれていく

遊びはめざましい学び

幼児園は、遊びを中心として、子どもを尊重しながら、主体的に、様々な経験と遊びの楽しさを味わい、自分の力を発揮し、自分の体を動かして、また、友達と仲良くしたり、協力したりすることで、様々なことを学ぶ。

- 友達と協力する
- 順番に遊ぶ
- 友達と遊ぶ楽しさを知る
- 自分たちで決める
- 友達と遊ぶ楽しさを知る



各園では、「遊びを通して、様々な体験を重ね、表現・能力が育まれていく」を目標として、園内研修(下記)をはじめ、県内の各国の「学び」を支援する

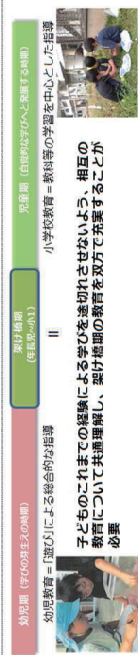
遊びはめざましい学び

幼児園は、遊びを中心として、子どもを尊重しながら、主体的に、様々な経験と遊びの楽しさを味わい、自分の力を発揮し、自分の体を動かして、また、友達と仲良くしたり、協力したりすることで、様々なことを学ぶ。

- 友達と協力する
- 順番に遊ぶ
- 友達と遊ぶ楽しさを知る
- 自分たちで決める
- 友達と遊ぶ楽しさを知る

2. 保幼小の円滑な連携・接続の推進

保育所・幼稚園等と小学校とが、子どもをまんねかにして互いの教育内容を話し合い、それぞれのカリキュラムに反映させる取組(モデル校区の取組)を県内全域に普及する



3. 親育ち支援(保育者の親育ち支援力・保護者の子育て力向上のための支援)

核家族化や少子高齢化の影響で、子どもへの接し方が分からなかったり、子育てに不安や悩みを抱えたりする保護者に向けて、保育所・幼稚園等の協力を得ながら広く支援を届ける



園内の保護者を対象にしたワークショップ(「子どもの見方を変えてみよう」)の様子



現状・課題

◎ 指針・要領等に基づき事柄の取組に向けた各国や市町村の取組への支援が必要。

◎ 中堅(ミドルリーダー)を育て、地域内の各国の園内研修の充実を図るとともに、将来的な管理職・アドバイザーを育成する必要がある。

◎ 保幼小連携・接続を着実に進めるには市町村所管課のリーダーが不可欠。

◎ モデル校区の取組をもとに、今後、小学校に対し、連携・接続の必要性や強け橋プログラムの取組への理解を求めている必要がある。

◎ 保護者の園への要望が増加しており、子育て相談できる場になってほしいと願っている割合も高い。

◎ ことも大綱に基づいて策定される「こども計画」においては、家庭教育支援の重要性を盛り込むこととしており、市町村のこども計画の策定において家庭教育支援の入り口となる親育ち支援の充実について、記載され取り組める必要がある。

令和7年度の取組

園内研修支援事業 13,773千円
各園が行う「園内研修」での助言、各地域の自主的な取組を促す「ブロック別研修」での支援、受講が運営費加算(如通改善等加算)の要件となる「キャリアアップ研修」での助言

園評価支援事業 221千円
各園が行うPDCAサイクルに基づき園全体の改善を図る「園評価」への助言

保育者基本研修・専門研修 <教育センター>
ステージごと(新卒・5年未満・10年未満・中堅・主任・園長)の基本研修、テーマごと(発達障害・家庭支援・児童虐待・運動等)の専門研修の開催

保育者としての専門性やリーダー性を高め、指導的立場で園経営に参画できるようにミドルリーダーのための研修メニューの充実を図り、園内研修の活性化につなげる

保幼小連携・接続充実事業 1,072千円
県内全域への保幼小連携・接続の取組の充実を図る。
・モデル校区の取組の様子を収録したDVDや実践カリブックスの全国・全小・中学校への配布・活用促進
・市町村の保幼小連携・接続の取組への支援(年間研修計画等への伴走的支持) + R6年度「学校経営計画」を活用した働きかけ
・保幼小連携・接続研修 等

保幼小中連携モデル地域実践研究事業 295千円
指定市町村が行う保幼小中の連携を強化し、不登校対策等を推進するモデル事業を支援

親育ち支援啓蒙事業 2,564千円
保育者の親育ち支援力の向上を支援する「保育者向け研修」、保護者の子育て力向上を支援する「保護者向け研修」
保育者が子育てに役立つコツを解説する動画

「子育てに役立つコツ」を解説する動画の更新
「子育てに役立つコツ」のメニューに不登校対策の未然防止に向けた「(保育職場の)人間関係づくり」「ハラスメント研修」を新設

親育ち支援保育者スキルアップ事業 2,118千円
・全保育者を対象とし親育ち支援の基本について学ぶ「親育ち支援講座」
・各国で親育ち支援の中核を担う「親育ち支援担当」が役割への理解を深めるための研修会
・各地域の自主的な取組を促すための地域別交流会・研修会の開催

基本的な生活習慣向上事業 1,354千円
乳幼児期からの望ましい生活習慣の確立に向けた啓蒙や学習会の開催

「幼保支援課」
令和7年度当初予算額 22,956千円

令和7年度 幼児教育研修及び支援一覧

| 事業名 | 研修名 | 実施主体 | 研修日程等 | 実施場所 | 受講者・対象 | 事業概要 |
|----------------|------------------------|------------------------|---|--|---|---|
| 園内研修支援事業 | 園内研修支援 | 実施園 | 園内研修実施希望書の提出により実施 | 実施園 | 実施園の保育士・教員・保育教諭等 | 自主的・計画的な園内研修が行われるようにするために、幼保支援アドバイザー、幼保支援謀指導主事等を派遣し、保育所・幼稚園等が実施する園内研修等の支援を行う。 |
| | ブロック別研修支援 | 実施園 市町村主管課 幼保支援課 | 各実施園の年間計画により実施 | 実施園 | ブロック内の保育士・教員・保育教諭、小学校教育ミドル保育者研修受講者 | ブロック内における主体的な実践研修のためのネットワーク化の推進と、園内研修の企画・立案・運営を行うミドルリーダーを育成するために、県内9ブロックにおける「ブロック別研修会」を開催する。 |
| | ブロック交流会 | 幼保支援課 | 2月14日（土） | 教育センター | 令和6・7年度ブロック実施園の保育士・教員・保育教諭等、市町村担当者 | ブロック別研修会の充実を図るため、令和6年度及び令和7年度「ブロック別研修会」実施園、参加希望者が一堂に会し、保育所保育指針や幼稚園教育要領等に基づく自主的・主体的な園内研修の在り方について発表や協議を行う。 |
| | 高知県幼保推進協議会 | 幼保支援課 | I：6月 9日（月） II：2月 9日（月） | I：共済会館 II：共済会館 | 市町村園長会代表者 私立幼稚園代表者 認定こども園代表者 幼児教育関係者 | 県の政策についての協議を深め協力体制を構築することにより、どこにいても偏の高い教育・保育を受けることができる環境の充実を図るため、各市町村で組織されている園長・所長会の代表者（私立の幼稚園・認定こども園は団体代表）からなる「高知県幼保推進協議会」を開催する。 |
| | 幼児教育研究協議会1期 | 幼保支援課 | 5月20日（火）～ 6月3日（火）の配信 | オンデマンド配信 | 保育士・教員・保育教諭等 | 幼稚園教育要領に加え、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び保育所保育指針等の周知を行う中で明らかとなった課題の中から国が協議するテーマを設定し、毎年各都道府県で協議会を開催する。さらに、その結果を全国協議会において検証していくことにより、幼児教育の振興・充実を図る。（文部科学省事業） 【令和7年度協議主題】 「幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について」 協議の視点①幼児教育施設と小学校教育における相互理解の促進 ②架け橋のキャリアプログラムの開発・実施 |
| 幼児教育 普及啓発事業 | 「乳幼児教育・保育と その質の重要性」 | 幼保支援課 | 9月11日（木） | 高知会館 | 市町村等の行政職員等 | 幼児教育の充実に向けて市町村の取組に向けて、市町村の行政職員等を対象とした幼児教育の理解・促進に向け研修を実施する。 |
| | 障害児保育 （特別支援教育）研修 | 幼保支援課 | I：6月25日（水）～ 7月 8日（火） II：7月23日（水） III：9月 5日（金） | オンデマンド研修 県民文化ホール （グリーンホール） 人権啓発センター（6F） | 保育士・教員・保育教諭等 幼児教育関係者 | 厚生労働省「保育士等キャリアアップガイドライン」に基づき、障害児保育に関する理解を深め、保育現場における適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付けたリーダー的職員の育成を行う。 |
| | 食育・アレルギー対応研修 | 幼保支援課 | I：7月18日（金）～ 7月31日（木） II：8月19日（火）～ 9月 1日（月） III：9月30日（火） | オンデマンド研修 オンデマンド研修 オンデマンド研修 県民文化ホール （グリーンホール） | 保育士・教員・保育教諭等 幼児教育関係者 | 厚生労働省「保育士等キャリアアップガイドライン」に基づき、食育・アレルギー対応に関する理解を深め、保育現場における適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付けたリーダー的職員の育成を行う。 |
| | 保健衛生・安全対策研修 | 幼保支援課 | I：6月10日（火）～ 6月23日（月） II：7月 8日（火）～ 7月22日（火） III：9月12日（金） | オンデマンド研修 オンデマンド研修 オンデマンド研修 県民文化ホール （グリーンホール） | 保育士・教員・保育教諭等 幼児教育関係者 | 厚生労働省「保育士等キャリアアップガイドライン」に基づき、保健衛生・安全対策に関する理解を深め、保育現場における適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付けたリーダー的職員の育成を行う。 |
| | | | | | | |

就学前教育の充実

幼保支援課

R7当初：16,327千円（一）8,345千円
（R6当初：22,043千円（一）7,702千円

事業概要

教育・保育の質向上ガイドラインや園評価の手引きを活用した各園の取組を支援し、保育所・幼稚園等における組織力と教育・保育の実践力のさらなる向上を図るため、アドバイザーや指導主事等による訪問支援やキャリアアップ研修等の人材育成研修を行う。
特別な支援を必要とする子どもも安心して成長することができるよう、個別の指導計画の作成を支援する。また、各園で育まれた一人一人の子どもたちの生きる力の基礎を小学校へ円滑につなぐため、各保育所・幼稚園等と小学校における架け橋プログラムの取組や架け橋期のカリキュラムの作成・実施・評価等を支援する。

期待される効果

各園における組織力・実践力の向上や人材育成の充実による就学前における教育・保育の質の向上、小学校への円滑な接続

事業目標

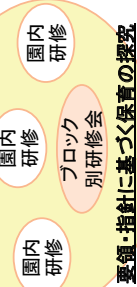
- 教育・保育の質の向上に関する園内研修（外部から講師等を招聘して行うもの）を実施している園の割合 65%以上（R7）
- 幼稚園教育要領・保育所保育指針等を踏まえた園内研修の実施により、職員の同僚性が育まれ、一人一人の資質・指導力が向上する。
- ◆ ガイドライン（シート2）等を活用した話し合い 100%
- 保幼小で互いの教育内容を話し合い、それぞれのカリキュラムに反映させている小学校区の割合 70%（R6）

現状・課題

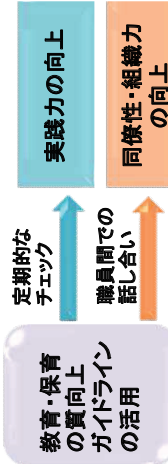
管理職等の大量退職による世代交代で指導役となる保育者が少ないことから、教育・保育の質の更なる向上に向け、また各園の実態に合わせたガイドラインの定期的な活用と職員間の話し合いの充実による、保育所・幼稚園等における組織力・実践力の向上を図るため、アドバイザー等の訪問支援の充実が必要である。
子ども達の発達や学びを小学校に円滑に接続するため、各保育所・幼稚園等と小学校で、子どもの姿をまんなかにした話し合いの機会をもち、共にカリキュラムの見直し等を実施する等、組織的・計画的な連携・接続が必要である。

実施内容

全ての園が園内研修を実施
【保育実践を見合う・語り合う】



組織力・実践力の向上



幼保推進協議会

進捗状況の確認・協議
課題の把握・解決策の検討

保幼小接続の充実



保育者のさらなる指導力の向上

幼稚園教育要領・保育所保育指針等に基づく保育実践の徹底

特別な支援を必要とする子どもへの対応力の向上

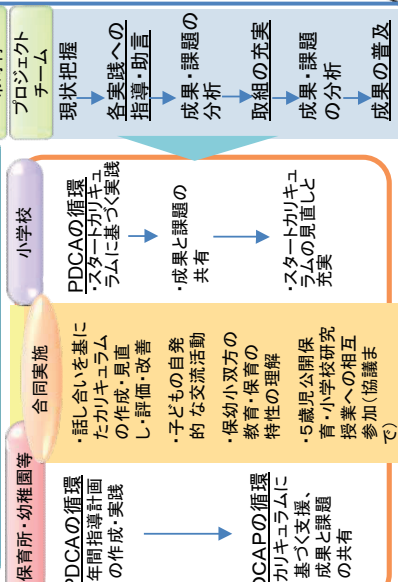
★特別な支援を必要とする子どもの理解のため
・集合研修（遠隔システム活用含む）＋出前研修
・オンデマンドやDVDによる研修
・臨時・パートを含む全ての保育者が対象

★特別支援学校等の専門家チーム、親育ち・特別支援保育コーディネーター等による各園への訪問指導の拡充
・「個別の指導計画」の作成支援
・関係機関との連携

教育センターとの連携

4月 3月

保幼小の円滑な接続の推進



園内研修支援事業

幼保支援課

R7当初：13,867千円（一）6,928千円
（R6当初：13,083千円（一）6,540千円）

事業概要

自主的な園内研修がさらに組織的・計画的に行われるよう、幼保支援アドバイザーや、幼保支援指導主事等を派遣し、保育所・幼稚園等が実施する園内研修等の支援を行う。県内のどこにいても保育所保育指針や幼稚園教育要領等に沿った質の高い教育・保育が受けられる環境の実現を目指して、各園が行う園内研修の取組を支援する。

期待される効果

教育・保育のさらなる質の向上を図ることにより、一人一人の子どもの「生きる力」の基礎を育む。

現状・課題

教育・保育の質の向上を図ることを目的とした保育を見合っの園内研修が全ての園で実施されておらず、アドバイザー等の外部講師招聘による研修が実施されている園も6割程度である。また保育所・幼稚園等に勤務する保育者の約半数を占める会計年度任用職員等の資質の向上も重要である。そのため、アドバイザー等が直接園に出向き、保育実践に基づいた支援等を行う等、組織的な体制のもと、保育者のさらなる資質の向上を図っていく必要がある。

事業目標

- 幼稚園教育要領・保育所保育指針等に基づく教育・保育についての理解が深まるとともに、組織的・計画的で自主的な園内研修が実施されるようになる。

【目標数値】 教育・保育の質の向上に関する園内研修（外部から講師等を招聘して行うもの）を実施している園の割合65%以上



実施内容

研修機会の確保

園内研修の内容

園の研究テーマや課題に基づいた研修支援

- 公開保育・研究協議を通じた保育の改善・充実
- 幼稚園教育要領・保育所保育指針等改訂（H30年度）に沿った振り返りと保育内容の充実
- 「高知県教育・保育の質向上ガイドライン」（自己課題発見シート等）に基づく保育の振り返り
- 子ども理解に基づいた環境構成や援助の在り方
- カリキュラム・マネジメント（全体的な計画・教育課程の編成、指導計画の作成及び評価・改善等）
- 園評価の実施・改善・充実（園評価計画・評価指標等の作成）
- 特別支援教育・保育 ■ 運動遊び
- ドキュメンテーション など



園内研修の方法

多様な手法等を活用した研修支援

- ◆ 研究協議の実施（キャリアアップ研修 実践研修等）
 - ・ 公開保育の振り返り（付箋を用いたグループ協議、写真や映像の活用等）
- ◆ テーマや課題に応じた学習会など
 - 「高知県教育・保育の質向上ガイドライン（改訂版）」
 - 「指導計画・園内研修の手引き（改訂版）」
 - 「保育所・幼稚園等における園評価の手引き」
 - 「架け橋プログラム実践ガイドブック（仮）」
 - 「特別支援教育・保育に関するガイドブック」
 - 「スマイル〜輝くえがお〜」等の活用
- ◆ 職員が一人でも多く参加できる時間設定の工夫 など



園内研修の充実に向けて

★ 園全体で学び、互いの保育観を広げて、職員の同僚性を育みたい。

- ・自園における園内研修をどのように行っていけばよいか迷っています。
- ・環境構成や保育者の援助について学びたいなあ。
- ・指導計画や評価、記録について、一度整理したり見直したりしてみたい。
- ・会計年度任用職員やパート職員も参加できる研修を計画したい。
- ・若年保育者の環境構成や援助へのアドバイスに悩んでいます。



★ 保育者として職務内容に応じた専門性も高めたい。

- ・要領・指針の「ねらい・内容」をどう実践に結びつけていけばいいのかなあ。
- ・園評価シートを作ってみたけど、この計画や指標でよいのか心配。
- ・DVD「子どもの考える力を育む保育の在り方」をもっと活用してみたいなあ。
- ・「高知県教育・保育の質向上ガイドライン」をもっと効果的な活用を知りたい。

例えば

実践に基づく研修

《保育参観・協議》

実際の子どもの姿を基に保育参観・協議を行い、子ども理解や発達に沿った保育の在り方を考えます。

◆KJ法

研修課題について、自身の意見を付箋紙に書いて互いに聞き合い、参加者みんなで園の保育を考えます。



◆写真や映像を用いた研修

保育場面の写真や映像を使い、具体的な振り返りを行います。



園内研修の 申込みについて

保育を見合っの 園内研修

※保育参観・協議に加え、ご希望の内容等がありましたら、申込みの際、備考欄にご記入ください。

幼児教育等に関する研修会・学習会

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 指導計画（全体的な計画等の指導計画、週日案等）の作成・見直し | <input type="checkbox"/> 乳幼児期の発達について |
| <input type="checkbox"/> 保育所保育指針・幼稚園教育要領等について | <input type="checkbox"/> 臨時・パート職員等を対象とした研修 |
| <input type="checkbox"/> 園評価について | <input type="checkbox"/> 特別支援教育について |
| <input type="checkbox"/> 環境構成について | <input type="checkbox"/> 児童虐待について |
| <input type="checkbox"/> 人権教育について | |
| <input type="checkbox"/> 不適切保育について | 等 |

限られた時間で充実した研修を実施したい、研修内容や方法の工夫改善の必要があるかもしれない、と考えられている保育所・幼稚園等のみなさん。

当課のアドバイザーや指導主事がお伺いさせていただきます。園の実態に応じた園内研修と一緒に考えますので、お気軽にご相談ください。



学習会

◆保育所保育指針・幼稚園教育要領等の活用

- ・保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく発達の理解
- ・一人一人に応じた環境構成や援助の在り方
- ・カリキュラム・マネジメントについて（指導計画の編成・実施・評価・改善、記録等）
- ・特別支援教育・保育（個別の指導計画等の作成）
- ・乳児保育や幼児保育についてのDVD視聴・協議
- ・臨時・パート職員の方々の学習会

◆ガイドラインや手引き等の活用

- ・ガイドラインの自己課題発見シートやキャリアステージにおける資質・指導力チェックシートを活用して振り返り、話し合う
- ・園評価の手引きを活用し、重点目標から評価指標や取組指標の立て方を考え、効果的な園評価に向けて話し合う



保幼小連携・接続に関する研修はP.24へ

申込みは、高知県電子申請サービスにて行います。方法等の詳細については、P.45をご確認ください。また、申込みの際、以下の研修内容を参考にしてください。

園内研修支援事業【ブロック別研修支援】

事業概要

ブロック内における主体的な実践に基づく研修のためのネットワーク化の推進と、園内研修の企画・立案・運営を行うミドルリーダーを育成するために、県内9ブロックにおける「ブロック別研修会」を開催する。

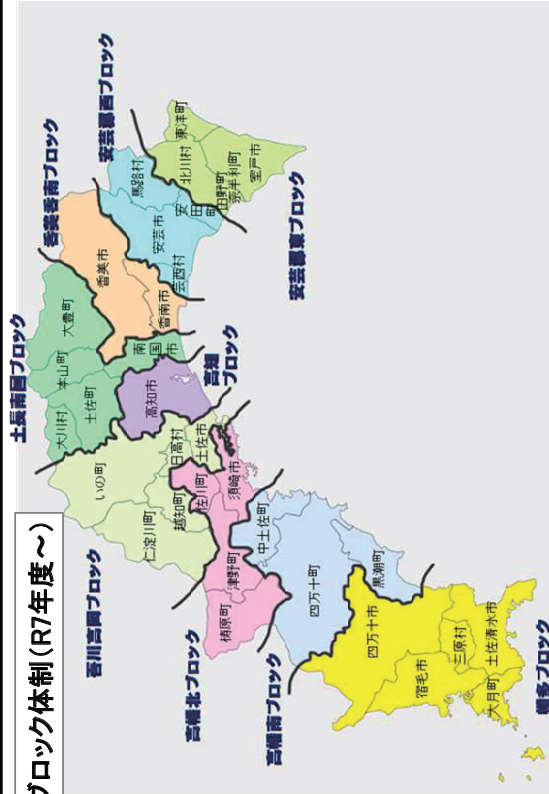
現状・課題

教育・保育の質の向上を図っていくためには、保育者のさらなる資質・指導力の向上が重要である。しかし、保育現場では、代替保育士の確保が困難な状況等から園を離れての研修は難しい現状がある。こうしたことから、園主体の組織的・計画的な研修体制の確立が必要となるが、職員の勤務体制や制度の違いから、研修体制を確立していくことが難しい。そのため、各地域で、園の教育・保育課題に基づいた実践を日常的・継続的に行う仕組みを構築する必要がある。また少子化に伴う園数の減少等から、ブロックを再編し実施体制を工夫しながら進めていく必要がある。

R7年度～

- ① 県内を9ブロックに分け、新たな近隣市町村や園とのネットワーク化の推進を図る。
- ② ブロック1・2年目園(18園)内での研修に相互参加を可能にする。※R7年度21園
- ③ 各園の研修担当による意見交流会(zoom等)を実施する。(R6～)
- ④ ブロック交流会においてミドルリーダーの役割確認と交流を図る。(R6～)

新ブロック体制(R7年度～)



幼保支援課による継続支援

- ・園内研修支援(研修の工夫、要領・指針や質向上ガイドラインの活用、保幼小連携・接続や親育ち支援の促進等)
- ・各市町村との連携・研修主任との連携・研修会当日の運営支援等

幼保支援課

期待される効果

ブロック内における主体的な園内研修体制が構築され、組織的・計画的な教育・保育に取り組むことにより、教育・保育の質の向上を図ることができる。

事業目標

研修の中核となる職員が育ち、園内及び園や市町村を越えた実践研修や公開保育が定期的に行われるようになる。

| 【目標数値】9ブロックでの公開保育の実施 | 9園 |
|----------------------|-------|
| 市町村単位の参加率 | 100% |
| ミドルリーダーの参加率 | 100% |
| 1年目園 回答「質向上につながった」 | 80%以上 |
| 2年目園の園内研修実施率 | 100% |

①1年目園(9ブロック・9園)

組織的・計画的な園内研修の実施

- 研修目標及び年間計画の作成
- 研修計画に基づく実践(年間を通して継続的に)
 - 【保育を見合っの園内研修を中心に各園に応じた研修】
 - ・ミドルリーダーとの連携
 - ・研修担当の意見交流
- 公開保育(10月～12月) ※全県へ公開
 - ・各地域の保育者等の参加
 - ・ミドルリーダーとの連携
 - ・ミドル1・2年次受講者によるグループ協議の記録・進行
- 小学校との連携(5歳児保育公開時の小学校の参加)
- 実践報告の作成(研修の反省と評価)・発表【ブロック交流会】
- 次年度の計画等

ブロック交流会

- ◆ 内容
 - ・R7年度 実践報告と交流
 - ・成果・課題の 情報提供
 - ・ミドルリーダーの役割確認と 交流

②2年目園(9ブロック・9園)※R7年度13園

組織的・計画的な園内研修の継続

- 研修目標及び年間計画の作成
- 研修計画に基づく実践(年間3回程度)
 - 【保育を見合っの園内研修を中心に各園に応じた研修】
 - ・研修担当による意見交流
- 小学校との連携(5歳児保育公開時の小学校の参加)
- 研修の反省と評価等

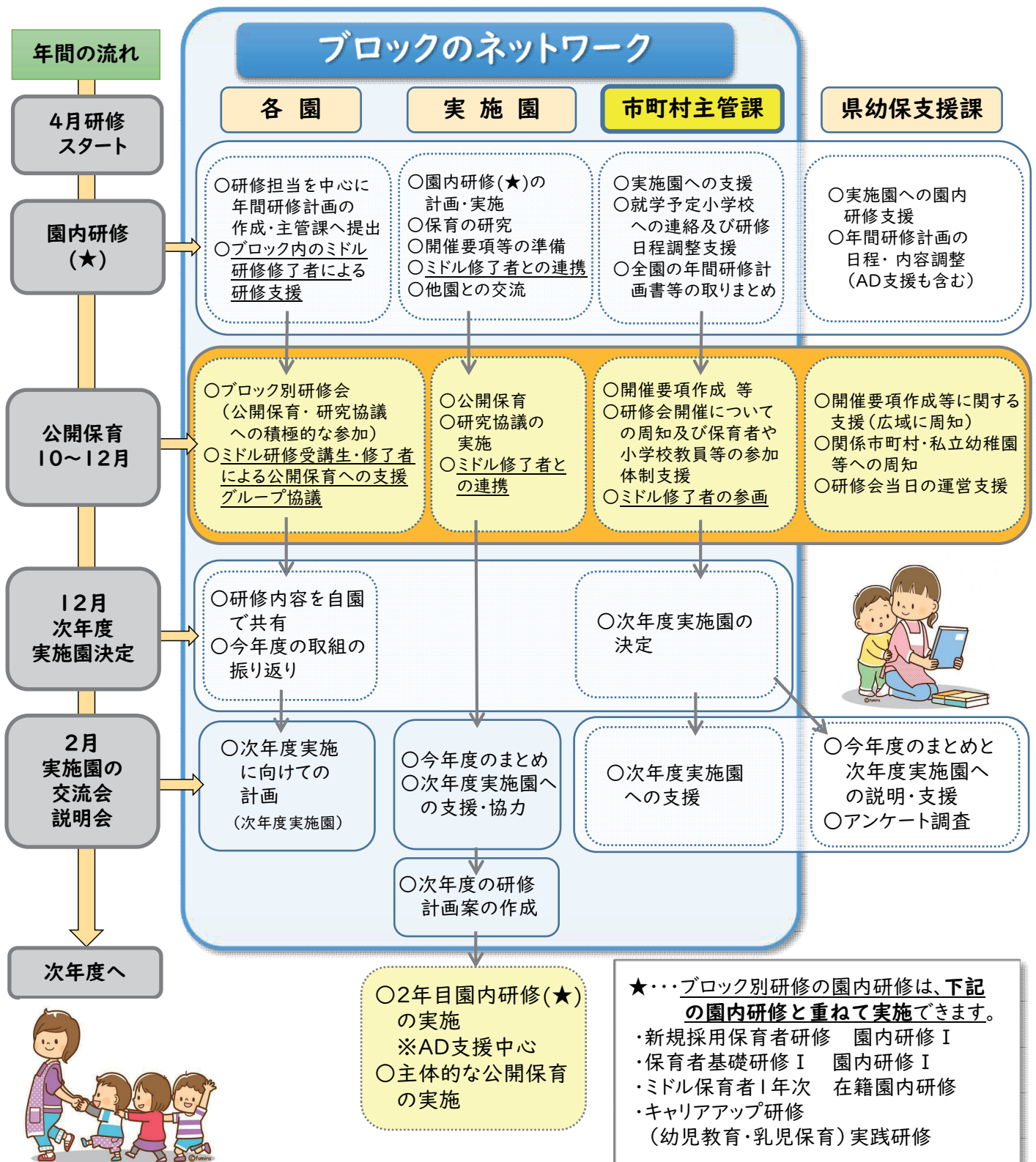
◆参加者

- ・1年目園
- ・次年度1年目園
- ・ミドルリーダー
- ・その他参加 希望者

ブロック別研修支援の流れ

【目的】

県内9ブロック(R7年度～)での「ブロック別研修会」の開催を通して、ブロック内における主体的な実践研修のためのネットワーク化を推進することにより、教育・保育の質の向上を図る。



R7年度からのブロックの編成と輪番



| No. | 地区 | 輪番市町村 | | | | | | | |
|-----|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
| 1 | 安芸郡東ブロック | 奈半利町 | 室戸市 | 室戸市 | 田野町 | 北川村 | 室戸市 | 東洋町 | 室戸市 |
| 2 | 安芸郡西ブロック | 安芸市 | 安田町 | 芸西村 | 馬路村 | 安芸市(私立) | 安田町 | 安芸市(公立) | 芸西村 |
| 3 | 香美香南ブロック | 香南市 | 香美市 | 香南市 | 香南市 | 香美市 | 香南市 | 香南市 | 香美市 |
| 4 | 土長南国ブロック | 土佐町 | 南国市 | 本山町 | 南国市 | 大川村 | 南国市 | 大豊町 | 南国市 |
| 5 | 高知ブロック | 高知市(公立) | 高知市(私立) | 高知市(公立) | 高知市(私立) | 高知市(公立) | 高知市(私立) | 高知市(公立) | 高知市(私立) |
| 6 | 吾川高岡ブロック | いの町 | 土佐市 | 土佐市 | いの町 | 日高村 | 仁淀川町 | 越知町 | いの町 |
| 7 | 高幡北ブロック | 須崎市 | 須崎市 | 佐川町 | 佐川町 | 梶原町 | 津野町 | 須崎市 | 須崎市 |
| 8 | 高幡南ブロック | 黒潮町 | 四万十町 | 四万十町 | 中土佐町 | 四万十町 | 四万十町 | 黒潮町 | 四万十町 |
| 9 | 幡多ブロック | 大月町 | 四万十市 | 宿毛市 | 四万十市 | 三原村 | 四万十市 | 土佐清水市 | 宿毛市 |

高知県幼保推進協議会

幼保支援課

R7当初：345千円（一）173千円
（R6当初：345千円（一）173千円

事業概要

県の政策についての協議を深め協力体制を構築することにより、どこにいても質の高い教育・保育を受けることができる環境の充実に努めるため、各市町村で組織されている園長・所長会の代表者（私立幼稚園・認定こども園共励会は、団体代表）からなる「高知県幼保推進協議会」を開催する。

期待される効果

各市町村園長会等との連携を強化することにより、高知県全体の教育・保育のさらなる質の向上を図る。

現状・課題

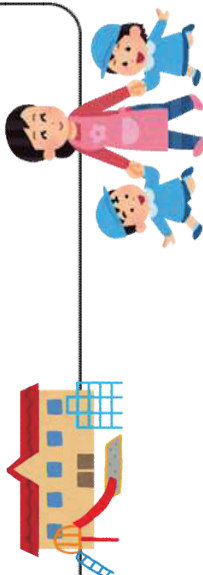
小学校以降は、教育事務所があり、市町村・学校との連携のもと教育を推進し、効果をあげている。しかし、就学前にはそのような機能がなく、市町村や保育所・幼稚園等との連携した取組を十分に行うことが難しい。

教育・保育の質の向上を図っていくためには、各市町村園長会等と直接対話できる機会をもち、県の意思を直接伝達するとともに、現場の状況を的確に把握できる互恵性のある体制を構築することが必要である。

そこで、県の施策についての共通認識のもと、各市町村における実施体制を整える必要がある。

事業目標

○ 高知県幼保推進協議会 年2回程度実施



実施内容

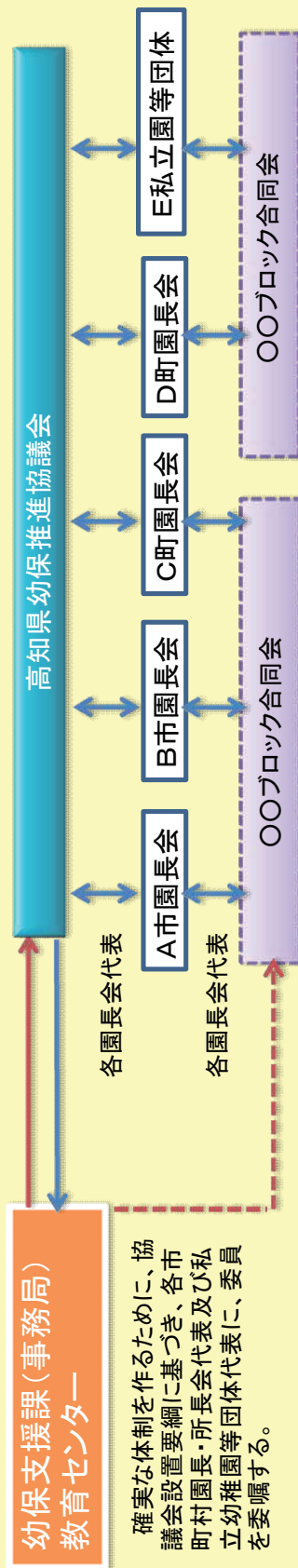
各市町村園長・所長会代表及び私立幼稚園等団体代表により年2回程度の協議会を開催し、県の施策についての共通認識のもと、各市町村における実施体制を整える。

本協議会は、保育者のさらなる資質・指導力の向上を主な協議内容とする。

《協議内容例》

第1回（6月） 県の実施する施策について情報交換
第2回（2月） 次年度に向けての各施策等の在り方について情報交換

組織体制図



園評価支援事業

幼保支援課

事業概要

園の経営方針や教育・保育目標を全教職員が共有し、教育・保育がチームとして実践されるとともに、よりよい実践に向けたPDCAサイクルを構築できるよう「保育所・幼稚園等における園評価の手引き」を活用しながら、各園が行う園評価の取組を支援する。

期待される効果

園評価の手引きの活用により、各園の特性を生かした組織的・計画的な教育・保育の実施・改善が行われる。

R7当初：221千円（一） 111千円
（R6当初：300千円（一） 151千円）

現状・課題

保育所・幼稚園等においては、園の教育・保育活動とその他の園運営の状況について評価を行い、その結果に基づいて、園及び設置者等が園運営の改善を図ること、評価結果等を広く保護者や地域社会等に公表していくことが求められている。しかし、保育所等における園評価については、乳幼児期の教育・保育の特性から評価項目や評価指標の設定が難しい上、数値で評価することにも抵抗感が大きく、効果的な実施が難しい。

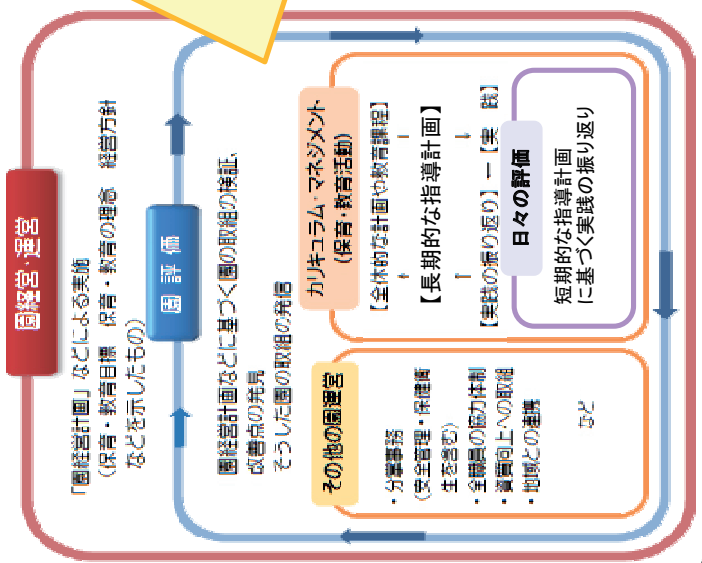
そこで、園評価の手引きをもとに、継続的な実施につなげていくため、活用にあたっての適切な助言や実践交流の場の設定ができるよう支援体制を整えることが必要である。



事業目標

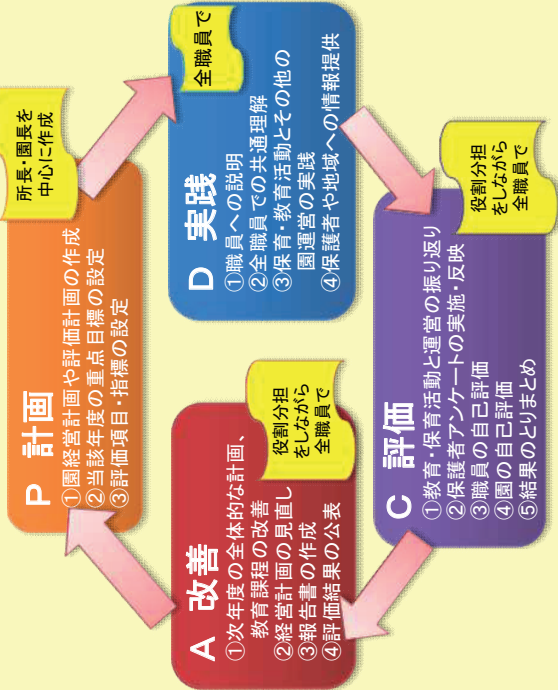
○ 手引き等の活用による園評価実施率 100%

実施内容



園評価システムの構築

教育・保育活動とその他の園運営について評価を行い、その結果に基づいて改善を図るとともに結果を公表する、PDCAの流れを意識した取組



園評価の実施に向けた手引きの活用促進

■ 園評価に関する研修（教育センター研修）

- ・園評価計画や評価指標の立て方
- ・園評価計画や報告書等の実践交流

■ スーパーバイザーによる個別相談会

- ・園評価計画の作成
- ・重点目標・評価項目・評価指標の立て方
- ・園評価結果のとりまとめ
- ・園評価報告書の作成
- ・園務分掌の作成
- ・園経営計画の作成など



■ 訪問支援

- ・園評価の仕組みの説明
- ・手引きの活用方法の説明
- ・園評価計画の確認・改善
- ・報告書の作成
- ・結果の公表の仕方
- ・園経営計画の確認など

保幼小連携・接続（架け橋プログラム）の充実に向けて

こんなこと、困っていませんか

保育主管課・教育委員会



- ・ 幼保小の架け橋プログラムについて知りたいな
- ・ 保育者と教職員合同の研修会を開催したいな
- ・ 架け橋期のカリキュラムはどのように作成したらいいの 等

保育者

- ・ 小学校の先生と保育を見合って、協議を深めたいな
- ・ 小学校教育とどんなつながりあるか学びたいな
- ・ 架け橋期のカリキュラム作成について学びたいな 等



小学校教職員



- ・ 幼児期にはどのような学び方をしているのかな
- ・ 幼児期の学びを生かした小学校教育ってどのように進めるのかな
- ・ 架け橋期のカリキュラムの作成をどのように進めたらいいかな
- ・ 保育者と一緒に交流活動計画を作成したいな 等

幼保支援課では保幼小連携・接続の充実に向けて、各市町村に応じた研修内容について一緒に考えることができます。上記のような悩みがありましたら、当課までお気軽にご相談ください。

令和7年度の研修申込は、**高知県電子申請サービス**にて行います

- ◆本資料P.45を参照
- ◆当課ホームページから申込み可能です。

具体的な研修の内容は下記の研修内容例を参考にして下さい。

研修内容例

- 架け橋プログラムの概要や取組について
- 幼児教育の特性理解について**
 - ・ 幼児期の経験を踏まえた小学校教育の在り方について
 - ・ 小学校を見通した幼児教育の在り方について
- めざす子供像やカリキュラムの作成
- 公開保育・公開授業・交流活動などの支援**
 - （アドバイザー派遣等）
 - ・ 公開保育や研究授業の際の協議の進め方や参観の視点について
 - ・ 交流活動の計画の立て方（ねらいや内容について）
- 市町村主管課の関わり方について

架け橋プログラムの進め方（一部抜粋）も参考にしてみてください。
詳しくは幼保支援課ホームページをご覧ください。

4 「子どもをまんнанかにして互いの教育内容を話し合う」取組開始

すでに実施している会を利用しましょう。

（1）校区内の「めざす子ども像」とそこに向けた0歳児からの「育みたい力」を決める ※すでにあるところは確認し、共有する

- 校区内の子どもの「よさ」と「課題」を出し合い、**どのような子どもを育てたいか**「めざす子ども像」を決める（すでにあれば確認と共有）
 - ・ 市町村の方針や園・小学校の教育目標、子どもの実態、保護者や地域の願いなどを踏まえて決める
 - ・ コミュニティスクール「めざす姿」など既存のものを活用することも可能
- 「めざす子ども像」に向けた**0歳児から育みたい力**を決める（すでにあれば確認と共有）
 - ・ 「めざす子ども像」に向け、各年齢（0歳児～5歳児～1年生～6年生…）ではどのような資質・能力を育むのかを出し合い、決めていく。
 - ※0から18歳（12歳）までを見通した学びの連続性にも配慮する

- ・ 学校運営協議会
- ・ 保幼小連絡会
- ・ 校区内保幼小合同研修
- ・ 授業研究
- ・ 園内研修への参加（協議も含む）
- ・ 交流活動などの打合せ実施・振り返りの会
- ・ 一日入学の振り返りの会
- ・ 引き継ぎ会

（2）互いの教育内容を話し合う **ここが重要** まずは、取組の「年間計画」を作成する

- 教育内容や指導方法を伝え合い、幼児期の学びが小学校の学習にどのようにつながっているか互いに理解を深める
 - ・ 校内研修・園内研修の相互参加などにより、実際の子どもたちの姿を通して話し合うこと
 - （例）5歳児の園内研修に小学校が保育参観・協議まで参加しアドバイザー等を招聘して子どもの姿を通して話し合う
 - ・ 共通の教材（「夏の遊び」「秋の遊び」「数量や図形」「言葉」等）を題材にして、子どもの姿から共通点や相違点等を話し合う
- 「めざす子ども像」に向けて、子どもたちに必要な「園での活動や経験」（指導計画等）や「単元構成等」（教育課程等）は何か、**共通の視点をもって話し合う**

（3）話し合いを踏まえて「架け橋期（5歳児～小1の2年間）のカリキュラム」を協働して作成する

- これまでの話し合いや実践を踏まえて、事務局が中心となって（2）を繰り返しながら、「架け橋期のカリキュラム」に落とし込む

モデル 地域の「架け橋期のカリキュラム」を活用しつつ、園と小学校が協働して、「架け橋期のカリキュラム」を作成することもできます。

カリキュラム完成

保幼小連携・接続についての様々な資料を幼保支援課ホームページに掲載しています

幼児教育の理解・発展推進事業【幼児教育研究協議会1・2期】

幼保支援課

R7当初：370千円（－）370千円
R6当初：359千円（－）359千円

事業概要

幼稚園教育要領に加え、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び保育所保育指針等、幼児教育に関する内容、幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所の運営・管理、保育技術等に関する専門的な講義、研究協議等を行うことにより、幼児教育の振興・充実を図る。（文部科学省事業）

期待される効果

幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領等の内容や、教育・保育に関する専門的な講義・研究協議等を行うことにより、教育・保育に関する理解が深まり、さらなる質の向上につながる。

現状・課題

幼児教育は、小学校以降における生きる力の基礎や生涯にわたる人間形成の基礎を培う上で重要な役割を担っている。
そのため、保育者には社会環境の変化等に伴う課題に対応する能力が必要であり、資質及び専門性のさらなる向上を図ることが求められる。

事業目標

- 協議主題及び視点に基づいて各園が研究を深めるため、組織的な研修を継続的に実施し、教育・保育のさらなる質の向上を図る。

【目標数値】 研究協議会（実施後）アンケート
「実践発表や分科会等が参考になった」100%

実施内容

国との連携

中央協議会（文部科学省）
都道府県協議会の
研究成果について協議

幼児教育研究協議会1期

（オンデマンド配信）

- 幼児教育研究協議会2期に向けて協議主題の解説
- 前年度中央協議会の報告
- 幼児教育にかかる情報の提供

R7年度 高知県協議主題

〈協議主題〉
幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について

幼児教育研究協議会2期

- 協議主題別実践発表
（1分科会につき代表1園程度）
- 県外講師による講話
- 協議主題に基づく分科会



幼児教育関連資料

幼稚園教育要領解説



保育所保育指針解説



幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説



【高知県教育委員会関連】→ 全てホームページに様式等を掲載しています（今後掲載もあり）

指導計画・園内研修
の手引き【改訂版】
(令和2年3月配付)



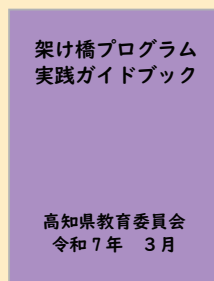
特別支援教育・保育
ガイドブック
(令和2年5月配付)



高知県教育・保育の
質向上ガイドライン
(令和4年3月配付)



高知県架け橋プログラム
実践ガイドブック



保育所・幼稚園等における
園評価の手引き



【人権教育関連】

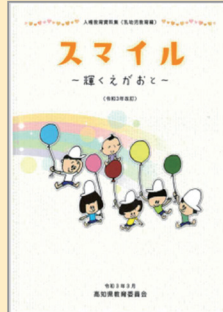
高知県人権施策
基本方針 第3次改訂版



高知県人権教育
推進プラン (改訂版)



スマイル
～輝くえがおと～



【防災教育・保育】

防災マニュアル
作成の手引き



架け橋 DVD



乳幼児期の教育・保育
学びの芽

高知県人権教育推進プラン
(令和2年4月配付)

『スマイル』(令和3年3月改訂)

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310801/smile.html>

【特別支援教育関連】

すべての子どもが「分かる」「できる」
授業づくりガイドブック



【文部科学省関連】

幼稚園教育指導資料

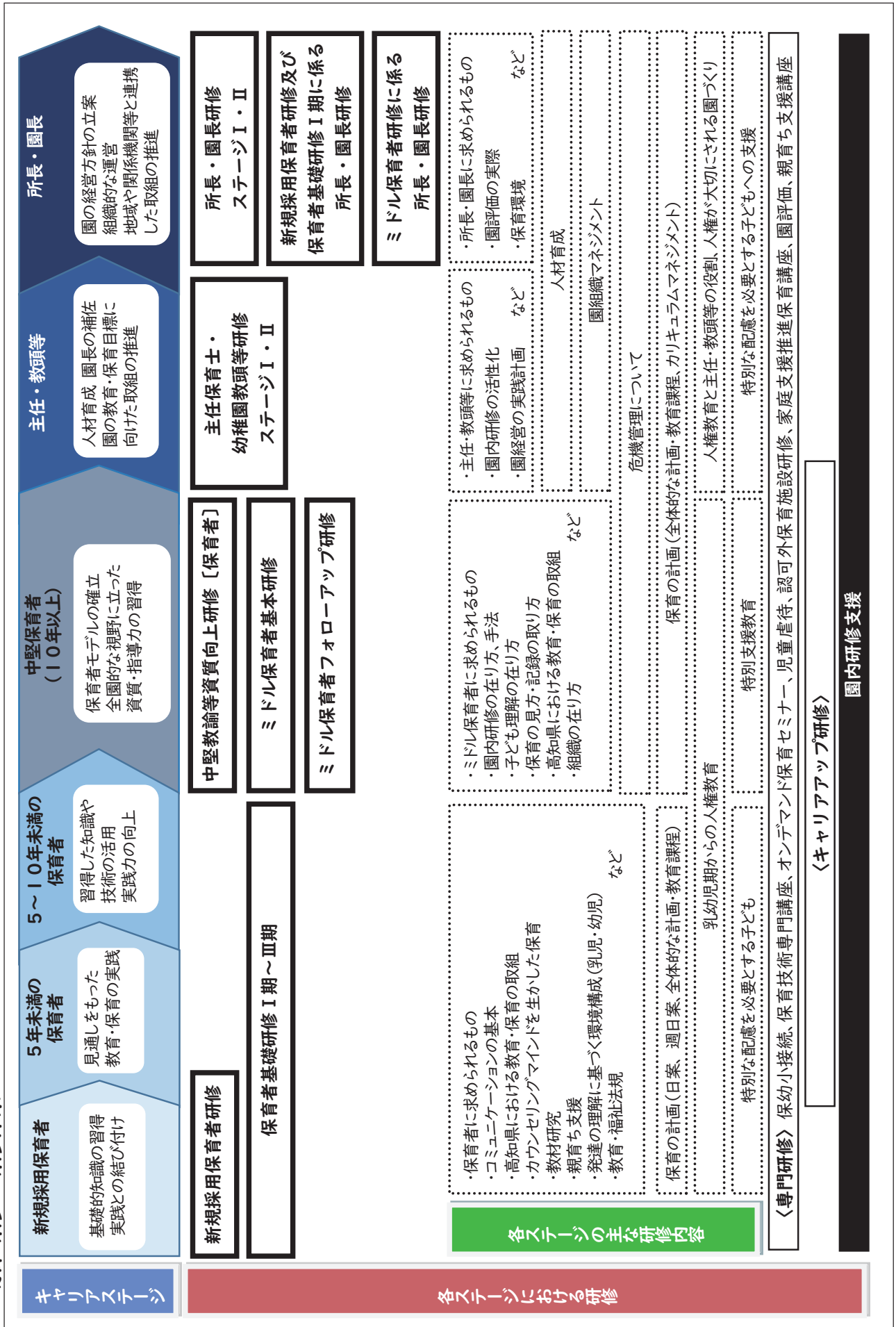
- ・幼児理解に基づいた評価 平成31年3月
- ・指導と評価に生かす記録 令和3年10月
- ・幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開 令和3年2月
- ・園児が心を寄せる環境の構成 (内閣府・厚労省共同編集) 令和4年3月



「発達障害等のある幼児児童生徒の支援をつなぐ就学引き継ぎシート・支援引き継ぎシート」(平成25年高知県教育委員会)資料もあります

教育センター所管の研修について

幼保研修 研修体系



幼保研修 対象者一覧（★がついている研修は、キャリアアップ研修と重ねて開催）

| | 研修名 | | 対象者 | 日数 | 定員 |
|-------------------------|--------------------------------|-------|---|----|------------|
| 基礎 ス テ ー ジ | 新規採用保育者研修 | | 令和7年度新規採用保育士・幼稚園教諭・保育教諭 | 7 | 105 |
| | 保育者基礎研修Ⅰ期 | | 令和2年度～令和6年度までに新規採用保育者研修を受講していない保育士・幼稚園教諭・保育教諭 | 6 | |
| | 保育者基礎研修Ⅱ期 | | 令和2年度～令和6年度までに新規採用保育者研修、保育者基礎研修Ⅰ期を受講した者 | 6 | 80 |
| | 保育者基礎研修Ⅲ期★ | | 令和2年度～令和6年度までに保育者基礎研修Ⅱ期を受講した者 | 6 | 80 |
| 中堅 ス テ ー ジ | 中堅教諭等資質向上研修〔保育者〕 | | この研修を実施する前年度に在職期間が9年となる保育士・幼稚園教諭・保育教諭 | 7 | 20 |
| | ミドル保育者 基本研修 | ステージⅠ | 市町村または所属長推薦の保育士・保育教諭・幼稚園教諭 | 7 | 30 |
| | | ステージⅡ | R7年度は実施しません | | |
| | ミドル保育者フォローアップ研修 | | 平成25年度から令和6年度までにミドル保育者研修2年次を修了した者 | 5 | 各30 ※Ⅰ |
| 管理職 ス テ ー ジ | 主任保育士・幼稚園教頭等研修ステージⅠ★ | | 保育所の主任保育士、幼稚園の主任・教頭、認定こども園の副園長等及び所長・園長が推薦した者 主任保育士・幼稚園教頭等研修ステージⅡの修了者 | 3 | 50 |
| | 主任保育士・幼稚園教頭等研修ステージⅡ | | 令和2年～令和6年度に主任保育士・幼稚園教頭等研修ステージⅠ、キャリアアップ研修⑧⑧マネジメントの修了者 主任保育士・幼稚園教頭等研修ステージⅡの修了者 | 2 | 50 |
| | 所長・園長研修ステージⅠ | | 保育所の所長、幼稚園の園長、認定こども園の園長等 | 3 | 40 |
| | 所長・園長研修ステージⅡ | | 令和2年～令和6年度に所長・園長研修ステージⅠを修了した者 保育所の所長、幼稚園の園長、認定こども園の園長等 | 2 | 40 |
| | 新規採用保育者研修及び保育者基礎研修Ⅰ期に係る所長・園長研修 | | 新規採用保育者研修及び保育者基礎研修Ⅰ期の受講者が所属する保育所・幼稚園・認定こども園等の所長・園長等 | 1回 | 105 |
| | ミドル保育者研修に係る所長・園長研修 | | 保育所・幼稚園・認定こども園の所長・園長等 ミドル保育者研修受講者が所属する園の所長・園長等 | 半日 | 60 |
| | 保幼小接続に関する研修Ⅰ～Ⅲ期★ | | 保育士、幼稚園教諭、保育教諭、小学校・中学校・義務教育学校の管理職・教員、市町村等の指導主事等 | 3 | 各200 ※Ⅰ |
| 専 門 研 修 | 保育技術専門講座Ⅰ～Ⅴ★ | | 保育士、幼稚園教諭、保育教諭、会計年度任用職員、その他保育関係者等 | 5 | 各150 |
| | 家庭支援推進保育講座Ⅰ・Ⅱ期★ | | 家庭支援推進保育士、親育ち支援（子育て支援）担当者保育士、幼稚園教諭、保育教諭、会計年度任用職員、その他市町村担当者、要対協関係者等 | 2 | 各100 |
| | 児童虐待に関する研修★ | | 保育士、幼稚園教諭、保育教諭、会計年度任用職員、その他市町村担当者、要対協関係者等 | 半日 | 150 |
| | 園評価に関する研修 | | 保育所・幼稚園・認定こども園等の所長・園長等、市町村担当者等、幼児教育関係者等、養成校の教員 | 半日 | 50 |
| | 認可外保育施設職員研修 | | 事業所内保育施設を含む認可外保育施設の職員 | 1 | 50 |
| | オンデマンド保育セミナーⅠ・Ⅱ | | 保育士、幼稚園教諭、保育教諭、会計年度任用職員、その他保育関係者等 | 2回 | なし |
| | | | | | |

※ 公立幼稚園・公立幼保連携型認定こども園は、新規採用保育者研修と中堅教諭等資質向上研修〔保育者〕は悉皆。

※Ⅰ 公開保育・公開授業を伴った研修回は、人数制限を行う場合があります。

令和7年度 高知県キャリアアップ研修予定 一覧

※太枠、色掛けの研修は、高知県教育委員会事務局幼保支援課担当

| | 月 | 日 | 曜 | 時間 | 研修内容 | 会場 |
|--------------------|--------------------|---------------|-------------|-------------|---|---------------|
| ①乳児保育 | 7 | 17 | 木 | 9:15～16:30 | 保育者基礎研修Ⅲ期と重ねて実施 ・乳幼児期からの教育・保育 ・子ども理解と指導計画 ・保育に生かす記録の取り方 ・発達障害等の理解と支援 | 県民文化ホール（グリーン） |
| | 8月～12月 ※日程は後日調整 | | | 9:00～16:30 | ・公開保育 ・園内の保育士等による研究協議 ・幼保支援スーパーバイザー及びアドバイザーによる受講者への個別指導 | 受講者の所属保育所等 |
| | 1 | 21 | 水 | 9:30～12:00 | 保育者基礎研修Ⅲ期と重ねて実施 ・乳幼児期からの人権教育 ・保育の計画と保育実践の振り返り | 教育センター |
| ②幼児教育 | 9 | 3 | 水 | 9:15～16:30 | 保育者基礎研修Ⅲ期と重ねて実施 ・学級経営について ・発達の理解に基づく環境構成（幼児） ・幼児期の教育・保育について | 教育センター |
| | 9月～12月 ※日程は後日調整 | | | 9:00～16:30 | ・公開保育 ・園内の保育士等による研究協議 ・幼保支援スーパーバイザー及びアドバイザーによる受講者への個別指導 | 受講者の所属保育所等 |
| | 1 | 21 | 水 | 13:00～16:30 | 保育者基礎研修Ⅲ期と重ねて実施 ・保育の計画と保育実践の振り返り ・保幼小接続について | 教育センター |
| ③障害児保育 【特別支援教育】 | 6 7 | 25 8 | 水 火 | 3h | 【オンデマンド研修】 ・特別な配慮を必要とする子どもについて | |
| | 7 | 23 | 水 | 9:45～16:45 | ・特別支援教育の視点に基づいた保育（行動分析） ・発達障害等の理解と記録について（様式A 個別の指導計画活用） ・特別支援教育の視点に基づいた保育（援助の仕方） | 県民文化ホール（グリーン） |
| | 9 | 5 | 金 | 9:45～16:45 | ・医療的ケア児の理解に関すること ・支援の記録と小学校への引継ぎについて（様式B 支援シート活用） | 人権啓発センター |
| ④食育・アレルギー対応 | 7 | 18 31 | 金 木 | 6h | 【オンデマンド研修】 ・食育の内容与計画（保育所保育指針） ・食育計画の作成と活用 | |
| | 8 9 | 19 1 | 火 月 | 3.5h | 【オンデマンド研修】 子ども一人一人に応じた食事の提供 ・保育所における食事提供ガイドラインの理解 | |
| | 9 | 30 | 月 | 9:45～16:30 | 子どもの健康と食生活の意義 ・食事・献立・食事摂取基準・献立作成 アレルギー疾患の理解とその対応 ・アレルギー疾患の理解 ・アナフィラキシーショックの理解と対応 アレルギー疾患への対応 ・保育所におけるアレルギー対応ガイドラインの理解 | 県民文化ホール（グリーン） |

| 研修分野 | 月 | 日 | 曜 | 時間 | 研修内容 | 会場 |
|--------------|----|---------------|-------------|-----------------|--|------------------------------|
| ⑤保健衛生・安全対策 | 6 | 10 23 | 火 月 | 6h | 【オンデマンド研修】 子どもの発達と保健計画 ・保健計画の作成と活用 | |
| | 7 | 8 22 | 火 火 | 3.5h | 【オンデマンド研修】 子供の疾病と対策・感染症予防対策 ・保育所における感染症対策ガイドラインの理解及び保育の現場において血液を介して感染する病気を予防するためのガイドラインの理解 | |
| | 9 | 12 | 金 | 9:45～ 16:30 | 安全管理・安全教育 ・教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドラインの理解 事故防止及び健康安全管理 ・事故とその予防 ・応急措置の実践 | 県民文化ホール (グリーン) |
| ⑥保護者支援・子育て支援 | 6 | 12 | 木 | 9:30～ 16:30 | 家庭支援推進保育講座Ⅰ期と重ねて実施 ・高知県における家庭支援の取組等 ・家庭支援の計画と記録の作成、園内の支援体制づくりについて ・家庭支援の在り方 | 県民文化ホール (グリーン・ 第6多目的室) |
| | 9 | 26 | 金 | 9:30～ 17:00 | 親育ち支援講座 ・保育所・幼稚園等における親育ち支援 ～支援の基本的な考え方と大切にしたいこと～ ・親育ち支援力を高める ・親育ち支援の研修計画に基づいた情報交換 | 高知会館 |
| | 11 | 4 | 火 | 13:00～ 16:30 | 児童虐待に関する研修と重ねて実施 ・高知県の実態及び関係機関との連携について ・児童虐待の防止につながる支援の在り方 | 県民文化ホール (グリーン) |
| A小学校との接続 | 6 | 10 | 火 | 13:00～ 16:30 | 保幼小接続に関する研修Ⅰ期と重ねて実施 ・公開授業 ・グループ協議・トークセッション ・円滑な接続に向けた架け橋期のカリキュラムの在り方 | 高知市立 春野東小学校 |
| | 7 | 22 | 火 | 13:00～ 16:30 | 保幼小接続に関する研修Ⅱ期と重ねて実施 ・架け橋プログラムの取組について ・子どもの学びをつなぐ連携・接続の在り方 | 県民文化ホール (グリーン) |
| | 1 | 23 | 金 | 13:10～ 16:30 | 保幼小接続に関する研修Ⅲ期と重ねて実施 ・架け橋プログラムの取組 ・保幼小連携・接続の取組について | 教育センター |

| 研修分野 | 月 | 日 | 曜 | 時間 | 研修内容 | 会場 |
|---------|----|----|---|-----------------|---|--------------------------|
| ⑦保育実践 | 8 | 25 | 月 | 13:00～ 16:30 | 保育技術専門講座Ⅱと重ねて実施 ・幼児期の運動指針 ・身体を使った遊び | 春野 総合運動公園 体育館 |
| | 9 | 16 | 火 | 13:30～ 16:30 | 保育技術専門講座Ⅲと重ねて実施 ・高知県の読書活動の現状等 ・絵本の果たす役割 | 県民文化ホール (グリーン) |
| | 10 | 22 | 水 | 13:30～ 16:30 | 保育技術専門講座Ⅳと重ねて実施 ・こころを育む保育環境 | |
| | 2 | 7 | 土 | 9:30～ 16:30 | 保育技術専門講座Ⅴ及び認可外保育施設職員研修と重ねて実施 ・保育者のまなざし ・乳幼児期の発達と遊び | 教育センター |
| ⑧マネジメント | 5 | 21 | 水 | 9:20～ 16:00 | 主任保育士・幼稚園教頭等研修ステージⅠと重ねて実施 ・人材育成と主任保育士・幼稚園教頭等に求められるものⅠ ・保育の動向と課題 ・人権教育と主任・教頭等の役割 | 教育センター 大方高等学校 (遠隔) |
| | 7 | 31 | 木 | 9:20～ 16:00 | 主任保育士・幼稚園教頭等研修ステージⅠと重ねて実施 ・園組織マネジメントの概論と実践(SWOT分析) ・特別支援の視点に基づいたコミュニケーションのとり方 | 教育センター 大方高等学校 (遠隔) |
| | 10 | 24 | 金 | 9:20～ 16:00 | 主任保育士・幼稚園教頭等研修ステージⅠ及び中堅教諭等資質向上研修Ⅱ(PM)と重ねて実施 ・親育ち支援の取組について ・園内研修の活性化 | 教育センター |